



くまきよしき

市政レポート

第3号

- 6月定例会報告！
- 3回目の一般質問！注目トピック
ー赤レンガ建物についてー

高岡市議会議員

熊木義城

くまき

よしき

27歳

成美小、志貴野中、高岡南高、立命館大卒
株式会社パソナグループ、
京都市議会議員秘書を経て
高岡市議会議員選挙に当選。
現在1期目。会派「高岡愛」所属。



6月

6月定例会が終了！今回は国の動きに合わせた「補正予算」が中心

高岡市の一年間の支出・収入の計画は、「当初予算」として3月の定例会で議論され、令和4年度の予算も可決されました。その当初予算に追加や変更が生じた場合は、「補正予算」として、どれだけ増えたか、または減ったかを議会にはからなくてはなりません。今回の6月定例会においては、新型コロナウイルス対策や、物価高騰対策などの国のうごきにに合わせて、追加の補正予算が組まれ、高岡市議会において審議されました。

●6月定例会で可決された補正予算の内容(一部)

コロナ禍における原油価格、物価高騰等総合緊急支援の住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金の支給

住民税(均等割)非課税世帯、1世帯あたり10万円、家計急変世帯に1世帯あたり10万円(コロナの影響で令和4年度1月以降、世帯全員が住民税非課税世帯相当の水準に下がった世帯)8月下旬に確認書を送付、返送受理後に審査と振込。

高岡クラフト・旅のおもてなし事業費

富山県内などで飲食店、宿泊施設を運営する事業者が高岡市内産の伝統産業を活かしたテーブルや室内装飾品を購入する際に補助を出すもの。(補助率は50%。飲食店:20万円、宿泊施設:100万円)

農業経営安定化緊急対策事業

生産資材にかかる経費支援、また作付け転換を行う農家の生産資材にかかる経費支援(1000円/10アール、後者は2000円/10アール)



くまきよしきの一般質問！～ここはどうなの？高岡市～

ー赤レンガ建物についてー

これまでは、「赤レンガ建物利活用調査事業」において、消防設備の機能復旧工事や保存活用計画の策定、耐震診断を進めてきたと聞いている。先日とりまとめられた「耐震補強計画」の概要の中では、事業費が3.5億～5億円かかるということも予想されているが、利活用における高岡市の負担がどうなるのか、その見通しもしっかりと立てて計画を進めなければ、市民の皆様の納得感も得られないのではないか。耐震補強の事業費について、国や県のどのような補助メニューを活用するのか。

「耐震補強計画」では、主に耐震が不足する山町筋に面した北棟のみを補強する案と、南棟を含めた建物を一体的に補強する2つの案をお示したところ。事業化に際しては、具体の手法や利活用方針に応じて最も有効な補助メニューを活用したい。今後は民間の活力やノウハウを活かした整備・運営手法について検討し、あわせて各種補助制度の活用も検討する。

市役所



くまきよしきの質問のようすがYouTubeで見られます

QRコードを読み取るか、YouTubeにて「高岡市議会 熊木」で検索！





利活用に向けて、今後どのようなスケジュールで計画を進めるのか。

現在、サウンディング調査を実施する事業者の公募を行っているところ(すでに募集終了)。今年度内に調査を終え、翌年度以降に結果をふまえながら整備・運営手法を含めた利活用方針の検討を進めていきたい。

※サウンディング調査・・・市有地等の活用方法について公募により民間事業者から広く意見や提案を求め、意見交換を通じて、市場性や、どうしたら事業がうまくいくか、参加しやすい公募条件などを把握する調査のことです。



3月の議会に引き続いてこのテーマで質問しました。4月に発表された耐震補強計画の中で、耐震補強に大きなお金がかかることが明らかになりました。文化財価値は高いということで、高岡市はなんとか上手に活用したいという方針であり、私もその考えには歩み寄った立場で質問をしていますが、活用するのであれば高岡市としての負担をいかに少なくしていくかをもっと詰めていかなければならないと思っています。本市の公共施設は、全体的に縮小していくという方針の中で、新しい施設をつくることになれば、方針に矛盾が生じますし、また建設だけではなく、維持にも当然コストがかかります。赤レンガ建物については、どうするかこれから決める段階だからこそ、今の市民にも未来の市民にも納得してもらえるように話を進めていかなければなりません。ますます「今後どう活用するのか？」ということに注目してまいります。

そのほかの質問テーマ

これからの行財政改革、どうなる？

高岡市は「行財政改革推進方針」というプランをつくり、目標を立てて改革を進めてきた。今までの計画は今年で終わり、来年からは新計画のスタートになる。今後の計画はどのように進めていくのか？

市民に関わる事業の評価、どうなっている？

市民と一番深く関わっている細かな事業を「事務事業」という。例えば、産業振興の部署が担当する「創業者支援事業」であったり、子育て支援の「産後ヘルパー派遣事業」など。全国では、その有効性を検証するのに「事務事業評価シート」や、外部有識者が評価する制度を導入しているが、高岡市でも考えてはどうか。

高岡市の「クマ」対策、ドローンを活用できないか？

石川県加賀市等、クマの捜索にドローンを活用している事例がある。赤外線カメラを通して、安全にクマを探ことができ、嫌がる音を発して追い払うことも可能。全国的にも駆除や捕獲を専門とするハンターの高齢化や後継者不足も指摘されており、高岡市でも導入を検討しては。

これまでは職員数の適正化や、公共施設管理コストの削減、市の借金発行を抑えるなどに取り組んできた。令和4年度末には10年ぶりに市の借金残高が1000億円を見込み。引き続きどれだけ借金するかに気を配りながら、デジタル化や官民連携も取り入れて持続可能な財政運営を進める。

これまでは総合計画の施策テーマごとに指標を定めて、目標数値を基準に進捗確認をして評価している。また、総合計画審議会や各種委員会等でご意見をいただきながら効果検証をしている。



クマは主に山間部で目撃されており、立木などの障害物が多い山間部ではドローン活用で解決すべき課題が多い。高岡市では、早期発見のため、AIによる出没検出・通報システムを導入している。

「高岡愛」チャンネル、ぜひご覧ください！



熊木が所属する高岡市議会のグループ「高岡愛」では、提案と発信をテーマに、YouTubeにて高岡市政情報をお届けしています。

YouTubeで「高岡愛チャンネルと検索！」

日々の活動はSNSから！

市政に対するご意見やご相談など、SNSやメールにて承っております。



その他今回のチラシに関するご意見・ご感想など、どんな内容でもお気軽にお問い合わせください！

☎ 0766-25-3861

✉ y.kumaki26@gmail.com

💻 <http://kumakiyoshiki.com/>

自由民主党「高岡愛」所属 熊木義城

熊木義城瓦版第5号編集・発行人：熊木義城
933-8601 高岡市広小路7-50 高岡市議会 令和4年8月1日発行

討議資料

